

West Breeze

Hiroshima City University's founding principle is to become an international university which contributes to world peace and to the prosperity of the community through education and research in science and art.



No. 098
Spring 2026
広島市立大学
広報誌



本学における博士学位取得者		
2025年度 春季修了 ※敬称略		
情報科学研究科	博士(情報工学)	立石 李希人
芸術学研究科	博士(芸術)	FENG FAN
	博士(芸術)	GOLDSCHMIDT REBECCA MARIA
	博士(芸術)	REN JINLAI
	博士(芸術)	濱地 孝史
	博士(芸術)	平浜 あかり
平和学研究科	博士(平和学)	LEE EON YONG

2026年度学年暦 前期(4月1日～9月30日)		
4月 1日(水) — 2日(木)	7日(火)	春季休業 春季入学式
2日(木) — 8日(水)	7日(火)	オリエンテーション・定期健康診断
8日(水) — 22日(水)	15日(水)	前期履修登録期間 前期授業開始
22日(水) — 30日(木)	24日(金)	前期履修確認期間 水曜日の授業実施
6月 3日(水) — 14日(日)	9日(火)	第1ターム試験期間 開学記念日
7月22日(水) — 30日(木)		月曜日の授業実施 前期定期試験
8月 6日(木) — 13日(木)	8月12日(水)	平和記念日(全学休業日) 夏季休業
13日(木) — 17日(月)	9月30日(水)	全学休業日
9月24日(木) — 25日(金)	10月 7日(水)	後期履修登録期間 秋季卒業式

ご寄付のお願い

広島市立大学が、さらに社会や地域に貢献できるよう、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

ご寄付について

West Breezeについての
ご意見やご感想はこちらへ

広島市立大学 広報委員会
Mail kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
Tel 082 (830) 1666 Fax 082 (830) 1656

West Breezeの最新号・バックナンバーはウェブサイトからご覧いただけます。

表紙作品
2025年度 芸術学部デザイン工芸学科(金属造形分野) 卒業
板垣 博乃 「eternally」/(金木犀)H21xW196xD204 mm
(桜)H51xW219xD183mm /(椿)H52xW170xD193 mm /Silver950. キュービック
ジルコニア、オレンジキュービック、ピンクキュービック、イエローキュービック、オレンジサファイア、イエローサファイア、シトリン、合成ルビー、ピンクトルマリン、モルガナイト、イエローバeryl
2025年度 卒業制作優秀賞 / 芸術資料館買い上げ作品

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel 082 (830) 1500 (代) Fax 082 (830) 1656
https://www.hiroshima-cu.ac.jp/

出会いが未来を開く

国際学部長
国際科学研究科長
たかはし ひろまさ
高橋 広雅

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
国際学部での学びは、教室の中だけで完結するものではありません。異なる価値観や背景をもつ仲間との対話や協働、時には意見の衝突を通じて、自らの視野を広げていく営みでもあります。周囲の人たちと切磋琢磨し、お互いを高め合うことは「ピア効果」と呼ばれ、学術的にもその有効性が検証されています。大学は、まさにそのような仲間と出会える絶好の場です。本学部には、多様性を尊重し挑戦を楽しむ環境があります。良き仲間に出会い、学び合い、支え合いながら、自身の可能性と世界への扉を切り開いてください。
皆さんの挑戦に、大きな期待を寄せています。

ご入学の皆さんへ

学長、学部長、研究科長から
新入生に贈るメッセージ

新たな学びと
創造の第一歩
― 未来を開く皆さんへ ―

理事・学長
前田 香織
まだだ かおり

本学前の桜並木

AIを使いこなし、未来を定義する知性となれ

情報科学部長
情報科学研究科長
いしみつ しゅんすけ
石光 俊介

広島市立大学情報科学部は、AIが社会を席巻するはるか30年前、平和を希求し未来を照らす存在として産声を上げました。現在、生成AIは単なる「道具」を超え、私たちの思考や創造性すら代替し始めています。変化の荒波が激しさを増す今、灯台が嵐の中でこそ真価を発揮するように、本学部が30年かけて築き上げた「情報科学の真髄」という光が、かつてないほど重要になっています。AIに正解を委ねるのではなく、AIを使いこなし、問いを立てる「知性の主体」として、あなたは何を成すのか。世界が加速し、自分を見失いそうな時代だからこそ、本学で揺るぎない基礎を打ち立ててください。その基礎こそが、不確実な未来を切り開く最強の武器となります。共に未来を建設しましょう。大いに期待しています。

表現は、世界に触れることから始まる

芸術学部長
芸術学研究科長
かさらは ひろし
笠原 浩

皆さんが今、この場に居るのは、単に「才能があったから」だけではないはず。これまで何を見て、何に心を動かされ、あるいは何を選べなかったのか。そうした無数の選択を積み重ねてきた結果が、今の皆さんの姿なのだと思います。
表現するということは、自分一人で完結するものではありません。作品は誰かに届け、時に誤解されたり、受け入れられなかったりすることもあるでしょう。それでも、作品は誰かの心に触れ、その人の世界の見え方をほんの少しだけ変える力を持っています。
その影響は微かかもしれませんが、ゼロではありません。表現を通じて世界に働きかける側に立つ。そのことを心のどこかに留めながら、本学での研究や制作の日々を、大切に積み重ねていってください。

三つの力

平和学研究科長
いしだ あつし
石田 淳

皆さんには在学中に三つの力を身に付けて、卒業後には自分らしい道を迷うことなく歩み出していってほしいと思います。その三つの力とは、観察力、想像力、そして表現力です。
まずは観察力。いま、目の前にあるものを注意深く見る、あるいは読んでください。何に気付くかは観察者によって千差万別でしょう。次に想像力。認識は千差万別であればこそ、他者の認識を想像してください。大切なものは、観察、感知、経験できるとは限りません。最後に表現力。頭の中の思考を分かりやすく印象深く言語化できなければ、人間は意思疎通できません。そして意思疎通できなければ、自分とは考えや思いを異にする他者と平和に共存できるものではありません。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
皆さんの入学を心から歓迎します。
本学は1994年の開学以来、「科学と芸術を軸に、世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という理念のもと、広島から世界へ挑戦を続けてきました。今年で開学33年目を迎え、これまでに巣立った卒業生は国内外のさまざまな分野で活躍し、地域社会や国際社会に新しい価値を生み出しています。
卒業生からは、「他学部の学生と協働する機会が多く、学部を越えた友達ができた」という声をよく耳にします。これは、本学の適度な規模に加え、国際学部・情報科学部・芸術学部、そして平和学研究科というユニークな構成があるからこそ得られる経験だと考えています。皆さんも、それぞれの学部で専門性を深めながら、学部の枠を越えて互いに学び合い、さまざまな課題解決に挑戦してってください。
現在、生成AIの進化と普及は社会の在り方を大きく変えつつあります。大学においても、分野を問わず、学修・研究・創作活動はもちろん、課外活動や就職活動に至るまでその影響が広がっています。これから、さまざまな場面で生成AIに答えを求めることがあるでしょう。しかし、その情報を鵜呑みにするのではなく、自ら考え、他者と対話し、新たな価値を創造することを大切にしてください。生成AIを単に「使う」「依存する」存在にとどめるのではなく、それと向き合い、育て、変革するデジタル社会をよりよく生き抜く力を身につけてほしいと思います。なぜなら、皆さんはこの新しい技術による社会変化の第一段階に立つ、まさに時代のパイオニアだからです。未来への一歩を、ぜひこのキャンパスから踏み出してください。
広島市立大学で過ごす時間が、新入生の皆さん一人一人にとって実り多いものとなるよう、教職員一同、全力で支援します。皆さんの挑戦と成長を楽しみにしています。

研究紹介 広島市立大学の“いま”を知る、4つの研究トピック

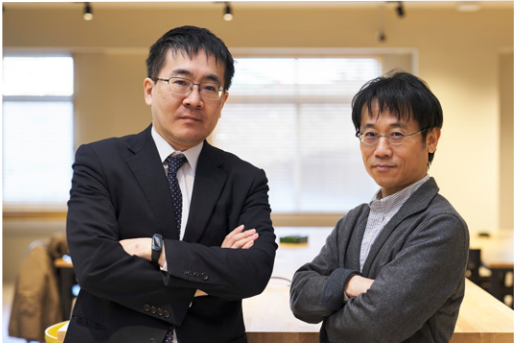
国際、情報、芸術、平和——異なる分野で活躍する研究者たち。
今知ってほしい研究を紹介します。



ヌルハイザル・アザム・アリフ 准教授
国際学部 国際学科



左／クアラランブールのハラールショー
右／マレーシアの日本食品売場



研究代表者
たむら けいいち 田村 慶一 教授
めら かずや 目良 和也 准教授
情報科学部 知能工学科



プロジェクトに参加している学生とミーティングを行う。
板清直将さん(情報科学部 知能工学科 4年)と田中颯さん(情報科学研究科 知能工学専攻 1年)
※学年は取材当時
CG-CA Uka ©2023-2024 by Nagoya Institute of Technology, Moonshot R&D Goal 1 Avatar Symbiotic Society.

地域食品企業における国際化と組織変容の研究

私の研究は、日本における地域の食品企業が、どのように国際化を進めているのかを明らかにするものです。特に、広島に根ざした企業が、海外市場へ挑戦する中で、現地の文化や価値観に向き合いながら事業を広げていく過程に注目しています。

研究の軸となるのは、「走りながら変容する」という視点です。最初から完璧な計画を立てるのではなく、今ある技術や人とのつながりを生かし、試し、学びながら柔軟に形を変えていく。その積み重ねが、結果として持続的な国際化につながっていきます。ハラールやヴィーガンといった食の多様性への対応も、こうした試行錯誤の中で育まれてきました。

多様性を尊重し、対話を重ねてきた広島の経験を背景に、地域から世界へと視野を広げる実践的な学びを学生と共に探究しています。

AI技術を活用した対話型データベース検索システム

広島市と国は、被爆体験記、証言ビデオ、市民が描いた原爆の絵や当時の写真など、被爆の記憶を伝える貴重な資料を数多く所有しています。そしてこれらを単なる記録に留めず、いかに次世代へ継承していくかが大きな課題となっています。

現在、広島市と共同で、AI（人工知能）技術を活用して形式の異なる被爆関連資料をまとめて検索できるシステムの開発に取り組んでいます。このシステムの特徴は、音声入出力機能を持つAIキャラクターとの対話を通じて、資料を直感的に検索できる点にあります。特に、LLM（大規模言語モデル）とRAG（検索拡張生成）を用いることで、あいまいな問い掛けからでも意図をくみ取り、より関連性の高い資料を見つけることができます。

被爆から80年が経過し、体験を被爆者から直接聴き語り継ぐことが難しくなる時代が近づいています。だからこそ、情報科学の技術は、過去の記憶を未来へとつなぐ「架け橋」になれるはずです。大学で培った技術を社会の平和や幸福のために役立てたい。その思いを大切にしてこれからも研究開発に取り組んでいきます。

多分野協働がもたらす表現の越境と深化

毎年、常に新しい表現に挑戦することを心掛けています。最近の活動としては他業種のプロフェッショナルとの協働制作が挙げられます。昨年ファッションブランド「ANTEPRIMA」とタッグを組み、ワイヤーバッグを始めとしたさまざまなアイテムを協働で生み出しました。服は柔らかな最初の建築であると定義し、ミラノのファッションショーで上下が反転したシャツをまとい、ランウェイを歩きました。また、招待された六甲ミーツアートでは建築家・安藤忠雄の「風の教会」という特殊な空間を読み解き、神戸の震災から30年という節目を顕在化させるべく、崩壊した無数の建築模型が十字架に吸い込まれるような展示を行いました。今年6月にフィンランド・オウル市で開催する「欧州文化首都2026」では、3年間通って実現させた恒久野外彫刻が披露されます。オウル市はタールや樽で財を成した都市で、現地の木工職人と共に制作した3メートルを超す特製の樽の内部に、雪の結晶が宇宙の星々のように舞う作品を制作しました。世界の第一線で活躍できるよう、さまざまなことに創造的な視点を持ち続けたいと考えています。



いわさき たかひろ
岩崎 貴宏 准教授
芸術学部 美術学科



© ANTEPRIMA, CO. LTD 2025

核兵器をめぐる「ルール」の力学を把握する

私は、核兵器をめぐる国際社会にどのような「ルール」や暗黙の了解が形成され、それが国際政治の中でどのように働いてきたのかを研究しています。公文書などの歴史的資料に加え、国会議事録や新聞、さらには近年のSNS上の言説も対象に、言葉の使われ方を統計的に分析する「テキストマイニング（計量テキスト分析）」という手法を用いて、人々が核兵器をどのように語ってきたのかを可視化しています。質的な読み込みとデータ分析を往復する中で、漠然と眺めているだけでは見えてこなかった構図が浮かび上がることがあり、それは研究者として大きなやりがいを感じる瞬間の一つです。核兵器をなくしてほしいというのは被爆地・広島的心愿ですが、その道筋が見えにくい時代だからこそ、極端な議論に流されず、核をめぐる議論の「枠組み」を客観的なデータに裏付けられた形で理解する作業が欠かせないと考えています。学生の皆さんには、「常識」とされているものをいったん問い直し、自分自身の問題として考える姿勢を身に付けてほしいです。



うめはら としや
梅原 季哉 教授
平和学研究所



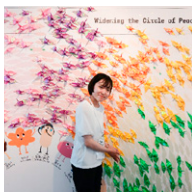
昨年3月、国連本部で開かれた核兵器禁止条約の締約国会議

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

本学の国際学部を卒業し、現在、株式会社たびまちゲート広島に勤務する松崎琴星さんにお話を伺いました。

平和活動がつかない私の将来



株式会社たびまちゲート広島
まつざき ことせ
松崎 琴星さん
国際学部国際学科 2024 年度卒業

—— 現在のお仕事について教えてください。
県外の観光客やインパウンド客を広島県に誘致し、広島県の観光資源を使った旅行商品や体験プログラム「PEACE PARK TOUR VR」[※]を企画・造成する部署に所属しています。

—— 大学時代にどのようなことを学びましたか。
国際学部で国際政治・平和プログラムを専攻し、国際関係史を中心に学びました。ゼミの専攻では国際関係史(中国)を取り、東南アジアの華僑華人についての卒業論文を執筆しました。きっかけは、たまたま卒論ゼミとなる先生の講義で題材を知り、興味を持ったからです。大学に入学した時は英語に興味があったのですが、気が付くと自分自身思いもよらなかった分野を勉強していました。

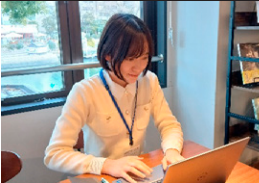
—— 学生生活で印象に残っていることは何ですか。
学生同士で学生生活の支援を行う「いちピア」、平和活動サークル「S2」や関連プロジェクトなどにチャレンジしていました。特に「いちピア」は団体としての歴史が浅く、新しいことを実現できるような活動環境で、イベントを企画したり、ラジオを収録したりと何でもありだったのが楽しく、強く印象に残っています。自分の行動力に気付いたのも「いちピア」での活動がきっかけだったと思っています。

—— 大学での学びや経験が今につながっていると感じることはありますか。
大学では「S2」に3年次まで所属していました。小学校で平和教育を受けて以降、広島の平和について学ぶことから離れていましたが、「S2」に所属したことがきっかけで平和活動に興味を持ちました。他にも、大学の支援を受けて学生が社会貢献活動に取り組む「市大生チャレンジ事業」の「ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ」という学生団体に大学3年次から加入し、平和活動に取り組む中で、現在の仕事をしたいという思いにつながったと感じています。



「PEACE PARK TOUR VR」のゴーグル

※「PEACE PARK TOUR VR」
広島市平和記念公園レストハウス 発着とした体験型ツアー。ガイドと共に園内を巡り、被爆者の証言や過去の写真等を基にした再現VRで、被爆前から現在に至るまでの広島の様子を体験できる。



広島市平和記念公園レストハウスで仕事をする松崎さん



「ノーモア・ヒバクシャ継承センター広島」のフィールドワークに参加

爆者の方が書かれた短歌を朗読するなど、平和を発信する機会にもチャレンジしていきたいです。

—— 最後に後輩たちへメッセージをお願いします。
私は自分の興味を仕事に生かしたいと思い、今の会社に就職しました。関心がなかった業務も多くありますが、そのような仕事を通してこそ、自分自身が成長できると前向きに考えて取り組むようにしています。大学生活でも、初めてのことにプラスを考えて挑戦する経験は、社会人になっても必ず生きていると思います。また、就活に取り組む学生の皆さんには、焦らず自分のペースで取り組んでほしいです。もちろん、就活でのさまざまな企業との出会いも大事な経験にはなりますが、私のように学業や課外活動が就職につながることもあります。自分の好きなことに没頭したり、何かをとことん突き詰めてみたり、そんな時間があるのは大学生の今だからこそです。在学中に、さまざまなことにチャレンジしてみて、将来したいことを考えるのはその後も全く遅くないと思います。周りの友達や先輩、大学の先生方も頼りつつ、たくさん悩んで迷いながらも、充実した大学生活を送れるよう応援しています。

皆さんは、普段図書館でどのように過ごしていますか？広島市立大学附属図書館には、使いやすい読書スペース、工夫がたくさん詰まっています。今回は図書館スタッフさんに図書館のお勧めの使い方を取材しました。

新入生にお勧め

いちレボ 初めての図書館を利用する新入生に見てほしいところはありませんか？

図書館 まずはメインフロアの3階入口付近の企画展示をチェックしてみてください。4月には新生活にぴったりの一人暮らしに役立つ料理本や広島に関する本など、タイムリーなテーマに合わせた本が並びます。校の季節はラッピングコンモンのちもモからの景色を楽しむのもお勧めです。

いちレボ 図書館は1階から3階までありますが、それぞれどのような特徴がありますか？

図書館 1階は「いちレボ」のライオスロンコーナーはベストセラーや先生お勧めのポッドキャストされた本など、気軽に読みやすい本が並びます。2階は専門的な本が並び、卒業論文に使用されることも多いですね。3階は読みやすい教養系の本も多いです。館内には一人用の机もあるので自分の落ち着く場所を見つけてみてください。

いちレボ 中には借り方が分からない人がいるかもしれませんが……

図書館 気軽に司書に聞いてみてください。とにかく一度来て、館内を歩いてみてください。

いちレボ 知っていたら得する、図書館の使い方はありますか？

図書館 データベースで雑誌を読むことです。例えば、就職活動のときには、業界の情報を一度に知ることができて、本館に便利です。国内外の雑誌がそろっていて、最新号もたくさん読めます。

いちレボ 就活の強い味方ですね！

図書館 雑誌は旬の話題を押さえるのにお勧めです。新聞、雑誌、図書で情報の細かさや変わっていくので、知りたい内容に応じます。

いちレボ 使い分けると便利です。また、同じテーマでも雑誌によって切り口が違うところがあるので、読み比べることで意図的に理解できます。

いちレボ 図書館の意外な活用方法を教えてください。

図書館 3階の「いちレボ」は、要望があれば展示スペースとしても使えます。過去には、学生が企画展示を行ったこともありました。今後はみんなでも集って新しいものを作り上げる場にしていきたいですね。

図書館の魅力

いちレボ 学外の人も利用できると聞きました。

図書館 市図書館は専門的に深く調べたい方にもお勧めです。美術書をはじめ、大学ならではのマニアックな資料も多いです。芸術学部があるのも、美術書も充実しています。

いちレボ 調べ物以外でどういった方が来られますか？

図書館 学修や研究に加えて、新聞を読みに来る方が多いですね。最近では家で新聞を取らない人も増えていますが、複数の新聞を読み比べられるのも大きな理由だと思います。

まとめ

図書館は館内の利用だけでなく、データベースにアクセスすれば、学外から新聞や雑誌などの電子資料も閲覧できるなど、多様な使い方ができる場所だということです。こうした図書館の魅力に注目しながら、積極的に活用してみてください。

編集統括・デザイン:芸術学部4年 高橋 南帆
ライティング:国際学部2年 尾立 怜菜・芸術学部2年 境 相奈・芸術学部2年 武川 実由
企画:いちレボ 広報誌班

いちレボ
キャラクターゼフィ

皆さんは、普段図書館でどのように過ごしていますか？広島市立大学附属図書館には、使いやすい読書スペース、工夫がたくさん詰まっています。今回は図書館スタッフさんに図書館のお勧めの使い方を取材しました。

新入生にお勧め

いちレボ 初めての図書館を利用する新入生に見てほしいところはありませんか？

図書館 まずはメインフロアの3階入口付近の企画展示をチェックしてみてください。4月には新生活にぴったりの一人暮らしに役立つ料理本や広島に関する本など、タイムリーなテーマに合わせた本が並びます。校の季節はラッピングコンモンのちもモからの景色を楽しむのもお勧めです。

いちレボ 図書館は1階から3階までありますが、それぞれどのような特徴がありますか？

図書館 1階は「いちレボ」のライオスロンコーナーはベストセラーや先生お勧めのポッドキャストされた本など、気軽に読みやすい本が並びます。2階は専門的な本が並び、卒業論文に使用されることも多いですね。3階は読みやすい教養系の本も多いです。館内には一人用の机もあるので自分の落ち着く場所を見つけてみてください。

いちレボ 中には借り方が分からない人がいるかもしれませんが……

図書館 気軽に司書に聞いてみてください。とにかく一度来て、館内を歩いてみてください。

いちレボ 知っていたら得する、図書館の使い方はありますか？

図書館 データベースで雑誌を読むことです。例えば、就職活動のときには、業界の情報を一度に知ることができて、本館に便利です。国内外の雑誌がそろっていて、最新号もたくさん読めます。

いちレボ 就活の強い味方ですね！

図書館 雑誌は旬の話題を押さえるのにお勧めです。新聞、雑誌、図書で情報の細かさや変わっていくので、知りたい内容に応じます。

いちレボ 使い分けると便利です。また、同じテーマでも雑誌によって切り口が違うところがあるので、読み比べることで意図的に理解できます。

いちレボ 図書館の意外な活用方法を教えてください。

図書館 3階の「いちレボ」は、要望があれば展示スペースとしても使えます。過去には、学生が企画展示を行ったこともありました。今後はみんなでも集って新しいものを作り上げる場にしていきたいですね。

図書館の魅力

いちレボ 学外の人も利用できると聞きました。

図書館 市図書館は専門的に深く調べたい方にもお勧めです。美術書をはじめ、大学ならではのマニアックな資料も多いです。芸術学部があるのも、美術書も充実しています。

いちレボ 調べ物以外でどういった方が来られますか？

図書館 学修や研究に加えて、新聞を読みに来る方が多いですね。最近では家で新聞を取らない人も増えていますが、複数の新聞を読み比べられるのも大きな理由だと思います。

まとめ

図書館は館内の利用だけでなく、データベースにアクセスすれば、学外から新聞や雑誌などの電子資料も閲覧できるなど、多様な使い方ができる場所だということです。こうした図書館の魅力に注目しながら、積極的に活用してみてください。

編集統括・デザイン:芸術学部4年 高橋 南帆
ライティング:国際学部2年 尾立 怜菜・芸術学部2年 境 相奈・芸術学部2年 武川 実由
企画:いちレボ 広報誌班

いちレボ
キャラクターゼフィ